

2025 年 7 月 7 日

各 位

第 55 期定時株主総会における会社提案第 5 号議案の分析について

株式会社サガミホールディングス（以下、当社）は、2025 年 6 月 26 日開催の第 55 期定時株主総会（以下、本総会）における議案において、第 5 号議案「当社株式の大量取得行為に関する対応策（買収への対応方針）継続の件」（以下、本議案）を上程いたしました。当該議案は可決されましたが、議決権行使賛成比率が 76.5%に留まりました。当社はこの結果を真摯に受け止め、反対の理由を整理したうえで、今後の対応策について検討いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

記

1. 反対の主な要因

本議案につきましては、議決権行使助言会社である「ISS」及び「グラスルイス」が当該議案に対して反対行使を推奨している影響が、一定程度あったものと推察しております。

特に、「ISS」が反対推奨とする議決権行使基準の『買収防衛策の導入及び更新に係る形式審査』に記載されている項目のうち、「取締役会に占める独立社外取締役が過半数以上」「買収防衛策の総継続期間が 3 年以内」「招集通知の総会 4 週間前までに証券取引所のウェブサイトに掲載」を満たしていなかったことによる影響があったと推察しております。

なお、当社の取締役会における独立社外取締役比率は 4 割となっており、特別委員会委員につきましては、全員が「ISS」の独立性基準を満たしております。また、招集通知につきましては、3 週間以上前（23 日前）に証券取引所のウェブサイトに掲載しております。

2. 今後の対応

本議案は、本総会の招集通知に記載している通り、当社の企業価値ひいては株主共同の利益を確保・向上させることを目的としております。

当社は、施策などについて株主・投資家の皆さまとの対話を進め、ご理解とご支援をいただけるよう、努めてまいります。

以上